

2. 社会教育

市民の主体的な学びの場や機会の充実にとどまらず、一人一人の学習活動で得た成果を地域や学校など幅広い分野で発揮できる機会をつくり出していくことが重要になります。そのため、自らの課題を自ら解決する地域社会の形成を目指して、『第四次社会教育中期計画』に掲げる、学習活動や世代間交流、ボランティア活動などの事業展開を図ります。

家庭教育

家庭は、全ての教育の原点でありますので、家庭教育や子育て支援に関わる機関・団体と連携を図り、学習機会の充実に努めるとともに、広報紙を活用し、必要な情報の提供を行うなど、家庭教育を支える環境づくりを進めます。

学校・家庭・地域の連携・協働による教育の推進

地域全体で学校を支援する学校支援地域本部事業については、全ての中学校区で地域教育協議会の組織化が図られたので、今後は、学校支援ボランティアの確保と支援活動の創出などの取り組みを支援します。

また、地域の方々の参画のもと、放課後の子どもたちの活動拠点として学習やスポーツ、文化活動などを提供する『放課後子ども教室』については、より一層、活動の充実に努めます。

通学合宿

引き続き、道教委による『学生ボランティア派遣制度』の活用や地域の協力団体との連携・協働により、子どもたちの自主性や協調性を育む機会として、充実に努めます。

青少年の健全育成

さまざまな体験活動を通して自己実現を図ることが大切ですので、各地区の青少年健全育成組織や子ども会育成連絡協議会をはじめ、社会教育関係団体との連携を深め、自然体験や社会体験などの機会の充実に努めます。

また、進展するネット環境に、適切に対応できるよう情報通信技術を活用して、子どもたちの情報活用能力を育成し、情報モラルの向上を図る取り組みを推進します。

文化・芸術の振興

登別市文化・スポーツ振興財団や登別市文化協会などと連携し、市民の文化・芸術活動への参加と鑑賞機会の充実に努め、地域文化の振興とコミュニティの構築に努めます。

また、当市の歴史解明や文化資源としての基礎を構築するため道立文書館の協力を得て古文書講座を開催します。

スポーツの振興

登別市スポーツ推進委員会や登別市体育協会と連携し、各種スポーツ教室の充実とレクリエーション活動の推進に努めるとともに、総合型地域スポーツクラブ『おにスポ』を支援し、生涯スポーツの普及を図ります。

また、健康と体力づくりを目的とした『きらり健康ふれあいウォーキング』は、本年度、登別地区で実施します。



図書館

西胆振3市間での相互利用サービスの実施と図書の充実に努め、魅力ある図書館づくりを進めます。

また、図書館のバリアフリー化の一環として、地域情報センターP i P 配本所の利活用を図ることとし、その施設整備のあり方について、図書館協議会に諮問します。

社会教育施設

郷土資料館、ふおれすと鉱山、カント・レラなどの社会教育施設では、ボランティア活動団体との協働により、効果的な学習活動の機会を提供します。

おわりに

以上、平成24年度の教育行政に関する主要な方針を申し上げます。

教育委員会としましては、本市の持つ豊かな自然や生活環境、地域の歴史や文化などの教育資源を活用し、豊かな個性と人間性を育む教育行政の推進に全力で取り組んでまいります。

市民の皆さん、ならびに市議会議員の皆さんのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

